

広報・PIチーム 会議録

会議の名称	川口市自治基本条例策定委員会 第13回広報・PIチーム
開催日時	平成20年8月25日(月)18時30分から22時15分
開催場所	川口市職員会館 3階 会議室
出席者	(リーダー)伊田(昭)委員 永瀬委員、堀和委員、林委員
会議内容	市民フォーラムについて 対話集会について
会議資料	・伊田(昭)委員作成資料、市民フォーラム案
発言内容	<p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話集会は各検討部会で行うと決定したのに、ある検討部会の会議で、事務局がそれを否定したという話を聞いた。事務局内で情報共有を図ってもらいたい。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのようなことがあったという話は聞いていないが、広報・PIチーム内の決定事項であり、運営調整部会に諮って最終決定した事項ではないということではないか。それならば私もそういう認識だ。情報共有をという話ではないし、必要ならば、その場の運営調整部会員、広報・PIチームメンバーが補足説明をすればよかった。 <p>市民フォーラムについて</p> <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネリストの人選について、編集委員の中から4名選ぶということが、広報・PIチーム、運営調整部会の決定事項だったと思うが、編集委員以外からの人選があった。編集委員の中から人選するように、再度事務局から言ってもらいたい。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集委員会に一任していることだが、当日都合の悪い方や議員を除くと、人がいないというのが実際のところだ。 ・決定は29日の編集委員会でのこと。検討部会という枠にこだわらないようにとはいっても、特徴のある考えの検討部会もある。編集委員会で人選するときに、自分の検討部会の考えをどうしても発表したい、という話になれば仕方がないのではないか。 <p>チームリーダー</p>

- ・編集委員の生の声をというコンセプトと違って来る。コーディネータの先生も困るだろう。3人に減らしてもいい。

事務局

- ・「市民が語る自治基本条例」というテーマであるし、素案を今、検討部会に戻しているのだから、考えは共有できているだろう。いずれにしても編集委員会で選ぶことになっている以上、任せる形になる。コーディネータの先生には、相談してみる。
- ・編集委員の中から選ぶという話は、どんな事情となっても、頑なに守るようなことなのかと思う。

- ・各検討部会に投げている状況なのだから、その結果も考えなければいけない。編集委員の中から選ぶということでオーソライズされているということ伝えてうえて、また別の人選をするというのなら仕方がない。
- ・各検討部会から人選するという考えは排除したはずだ。そこがはっきりと伝わっていない。
- ・運営調整部会が、あまり決定事項を確認しないこと問題なのではないか。

チームリーダー

- ・運営調整部会で決定しているということを、事務局から編集委員会に伝えてもらいたい。4人が無理なら3人でもよい。
- ・三宅先生と平先生の会談はどうなっているか。

事務局

- ・会談の場を設けることが難しそうなので、先生同士でメールのやり取りをしてもらっている。
- ・三宅先生がレジュメを用意してくれると言っていたので、フォーラムの2週間くらい前までにと回答してしまった。お願いしてよかったか。
- ・それでよいと思う。

チームリーダー

- ・参加人数の確認はいまのところどうか。

事務局

- ・第5検討部会は2～3人、第2検討部会が4人と、今のところ聞いている。他はまだのようだ。

チームリーダー

・それなら10人くらいは見込める。チラシの数はどうか。1,000枚くらいあればよいか。

・そんなに配りきれぬのか。

事務局

・その程度は既に用意してあるので、9月2日の当日に持っていく。

チームリーダー

・「自治基本条例を考える会」でも、フォーラムの1週間程前にチラシ配りをしたいのだがどうか。道路使用許可などは会で取る。

事務局

・良いかと思う。我々の配布状況で枚数も計算できるだろう。必要な枚数を言ってもらえれば用意する。
・道路使用許可申請に必要なので、配布エリアの確認をしたい。西口でも行うということでよいか。

・それで良い。

チームリーダー

・手話はどうなっているか

事務局

・皆さんがボランティア団体などにあてがえないようなら、社会福祉協議会に頼む。2人は必要だろう。ただ、手話を頼むのなら、事前に台本がないと行政用語などに対応できない。
・手話の件が無くても、司会進行の台本は早めに必要だ。台本を用意したうえでアドリブを入れるのは構わないが、何も無いとぐだぐだになる。タイムスケジュールも加えたものは用意しないとイケない。

チームリーダー

・台本の作成を司会にお願いしたい。

・検討部会で、パネルディスカッションの台本について質問された。口頭で説明するだけでなく、書いたものがあると安心するのだろう。

事務局

・全体の流れが分かるものがあると、安心できるということなのだろう。

案として提示したのもパネルディスカッションが全体で何分というだけだった。それでは大雑把過ぎることなのだろう。

- ・先生方のプロフィール紹介も、先生に内容の確認をしてないといけない。専門分野や、活動内容の紹介まで必要なかなども決めていない。また、携帯をマナーモードに、といったお願いも入れるなど、頭の中でシミュレーションをして、台本を作って、そういった部分を確認する必要がある。

- ・プロフィールは肩書と活動内容くらいでいいのではないか。あとは大学で何を教えているか、策定委員会で検討部会長であることだ。

- ・著書も出しているはずだ。その紹介も必要ではないか。

- ・そこまでは必要ないのではないか。

事務局

- ・皆さんは身近に感じているのだろうが、大学の先生に講演をいただく以上、失礼が無いようお考えいただきたい。
- ・時間から逆算して、どれだけ話すのかを決めるというのも手だ。

チームリーダー

- ・三宅先生とのすり合わせについてはどうか。

事務局

- ・すり合わせというほどのものはいらないうらうし、レジュメは近々もらうのだから、あまり細かく、話す内容を指定するのも失礼だろう。

チームリーダー

- ・ポスターについては、市内掲示板と公共施設に9月1日から掲示されるということでよいか。チラシは、どうか。

事務局

- ・ポスターの掲示は手配済みである。チラシは公共施設にはこれから送る。

チームリーダー

- ・チラシのデータを送ってもらいたい。データで送りたい人がいる。

事務局

- ・了解した。ちなみにホームページにもデータは貼りつける。

チームリーダー

・町会、自治会への広報はどうか。町会相談員へは。

事務局

・町会長あてに文書を発送するよう、手配済みだ。相談員へはこれから手配する。

チームリーダー

・議員や職員の動員はどうか。

事務局

・今動員をかけているところだ。

・検討部会から、開催日近くになれば、人数が読めるのではないかと、という意見があった。その時点で足りなければ、さらに集客活動をしてはということだ。また、当日に南平地区で運動会があり、前の週に行うところで、雨天順延のところもある。

チームリーダー

・運動会と重なるのは仕方がない。
・人数を読むといっても、実際にどう読むというのか。多すぎて困るというくらいくらいに精一杯の動員をかけた方が良さそう。

・少な過ぎた場合に、席をどうするかも考えておいたほうがいい。

チームリーダー

・精一杯やって少ないのなら仕方がない。

事務局

・内容を詰めなければいけないことはまだまだ沢山ある。看板の表示にしても、第1部、2部といった看板をどういうものにするのか、テーブルはスカート付きのものなのか、白布は必要か、ステージに予定どおりテーブルを配置できるのか、フレンディアの備品は何をどれだけ借りるのか、などだ。時間がもうあまり無いので、メールやファックスも利用してどんどん打合せを進めないと間に合わない。

チームリーダー

・広報かわぐちの記事についてどのようになったのか。
・ホームページへの掲載はどうか。

事務局

- ・記事はこのようになった。(事務局、記事を提示。)ホームページは既に作ってあるので、内容がこれでよければ公開する。

チームリーダー

- ・公民館だよりへの掲載はどうか。

事務局

- ・タイミングが合わないので、今回は難しい。

チームリーダー

- ・記者クラブへの投げ込みはどうか。

事務局

- ・明日流す手はずになっている。これまでも記者には、自治基本条例を策定中であることは度々話しているのだが、記事にならない。今回は具体的な活動であるし、これまでの成果を発表するので載るかもしれない。
- ・地域のミニコミ誌はどうか、1紙は11日に出る。もう1紙もうまくいけば載る。

事務局

- ・これまで、向こうから取材された経験はあるのだが、こちらからアクセスしたことが無い。どう情報提供するのか調べてみる。

対話集会について

チームリーダー

- ・各検討部会からいろいろと意見が出ているようなので、発表してもらいたい。その内容を踏まえて、もう少し細かいものを運営調整部会に出そうと思う。

第1検討部会の意見について

- ・芝地区ではなく南平地区を担当したい。
- ・まず市民フォーラムが大切なので、対話集会については、フォーラムが終わってから考えたい、実施期間を遅らせてはどうか。
- ・また、当日の次第や、共通のフォーマット、マニュアルが欲しい。メインとなる2項目についても、例えばではなくて決定して欲しい。説明は、市民フォーラムの三宅先生の講演を参考にしたい。
- ・素案のたたき台を細かく聞かれたらどうするかが心配である。地区に

特有の問題も意見として出るだろうし、質問や意見を持ち帰るのではなく、出席者が満足するような対応も考えて貰いたい。

- ・いろいろな意見がでるだろうが、素案にどう取り込むのか、活かすのか、それを検討してもらいたい。

第2 検討部会の意見について

- ・大筋で了解をもらった。開催日時は10月9日木曜日になった。集合は6時、南平公民館講座室2号である。
- ・議員と部会長を除いた7名で割り当ても決めた。司会に女性委員、あいさつが私で、条例がなぜ必要かは、副部会長である。素案たたき台の説明は編集委員のどちらかとなっている。
- ・9月14日のフォーラムで、何地区でいつというスケジュールを参加者に示すようにしてもらいたい。

チームリーダー

- ・検討部会長を除いたのはなぜか。
- ・そういう話ではなかったか。
- ・運営調整部会で意見として出ていたが、決定しているというわけではない。
- ・検討部会で皆の同意で決まったのだから問題ないのではないか。

事務局

- ・対話集会については確実に決まっていることはほとんど無い。運営調整部会から各検討部会に、実行できるか否かも含めて投げている状況だ。各検討部会から運営調整部会に報告をすることになる。それをもとに今度方針を決定するという事だったはずだ。第2 検討部会では、決定後すぐに対応できるように、決めたということであった。
- ・編集委員長は、対話集会をやるのはいいが、そこで意見が大量に出てもどう素案に盛り込んでいいかわからない、と言っていた。そういったことも含めて、対話集会をどうするのか、また、やりたくないという意見もあるかもしれないので、各検討部会に戻したということだった。

第3 検討部会の意見について

- ・第3 検討部会の委員は今日欠席だが、報告を受けている。
- ・対話集会をやること自体は良いが、この資料だけでは対話集会のやり方が分からないので、不安が大きい。質問をされてもどう答えて良いか分からないので、広報・PI チームも列席して欲しい。
- ・突っ込んだ質問も怖いし、条例と関係ない質問が来たときの対応も含め

て、細かい、具体的イメージのマニュアルが欲しい。

- ・ 条例を知ってもらうことが第1の目的だとしても、質問は持ち帰りますでは、反発があるのではないか。質問や意見の反映方法も共通の認識が必要だ。
- ・ 議員は参加しないこととしたい。

第4 検討部会の意見について

- ・ 対話集会については、運営調整部会で承認されていないし、何も決まっていないのではないか。
- ・ マニュアルも必要だし、検討部会ごとの意見の相違も考えると、各検討部会から1名ずつ出して別のチームを作ってはどうか。
- ・ 対話集会後にどうするのか。

・ 検討部会に戻して意見を聞くということ自体に問題があったのかとも思う。正直自信をなくしているので、広報・PIチームを辞めることも考えており、チームリーダーに預けている。この広報・PIチームが何なのかわからなくなった。

・ 検討部会で対話集会のやり方を考えて、市民に呼び掛けて、素案を説明して、意見を聞いてから、検討部会でその意見をまとめて、それを運営調整部会に持っていき、素案に反映させるのだと考えていた。

・ 詳しいマニュアルを作って、話す内容を決めるようなことは、広報・PIチームでやるべきことなのか。これでは10月中に出来ない。

・ 対話集会は策定委員の皆でする活動だろうと思っている。今は運営調整部会に何も提案できない。検討部会で話をするとすぐにマニュアルと言われる。

・ いくつかの検討部会でマニュアルの話が出るようだが、素案たたき台は、決定した内容ではないので、自分たちの分かる範囲で説明するしかない。ただ、ルールとして、検討部会としての意見ではなく、策定委員会の意見を言うということが必要だ。市政の具体事例を絡めて、意見や質問をする参加者もいるだろうが、それは伺っておき、持ち帰って検討するしかない。完璧な説明をしようとするから、マニュアルをという話になるが、現段階でそれが出来る人はいない。我々の意思が通じればいい。きちんとした説明は、最終的に条例が出来たときになる。

・ 対話集会に反対というわけではないのだろうが、不安が先に立つのだろう。内容のベースとなるものだけでもあればいいのではないか。

・ 前回提示した程度のものがあればいい。1年間議論してきた経験から、こういうことを検討した、こういうことも検討した、その結果こうなった、ということが話せば充分だ。

- ・第1検討部会では、どんなマニュアルを作れということなのか。
- ・マニュアルというほどではなく、不安感を消す程度のものだろう。
- ・統一して欲しいという意見がある。それができなければ、検討部会ではなく別チームということだ。
- ・意見としては分からなくもないが、現実的には、検討部会でやることになるだろう。

第5検討部会の意見について

- ・やることに同意する。10月14日火曜日に、中央ふれあい館で開催する。内容については今後、検討部会で決めていくこととし、細かいことはこれから話し合う。部会長は、その1週間前の検討部会で内容を決めれば充分ということで、割と楽天的に考えている。

チームリーダー

- ・第4検討部会以外は、検討部会でやることに異論は無いようだ。
- ・このままでは対話集会ができない。とりあえず各自考えて意見を持ち寄ることになったが。マニュアルを作るとしたら、広報・PIチームで作れるか。

チームリーダー

- ・マニュアルではないが、もう少し細かく内容を肉付けしたものを作ろうと思う。

事務局

- ・結局一番イメージしやすいのは、先ほどのフォーラム同様、司会進行文ではないか。貰う方としてはそれがいいだろう。あとは、準備しておく事や物をリストにしておくといい。

チームリーダー

- ・1箇所だけ遅れても、足並みがそろわなくてもいい。
- ・それで運営調整部会に提案できるのか。

チームリーダー

- ・今日の意見をまとめたものを次回提示する。それを叩いて、運営調整部会への提案としたい。
- ・日にちが決まっている検討部会が対話集会をする様子を見学すればイメ

ージが分かるのではないか。その後で開催すればいい。

- ・おそらくそういったことはしないだろう。私は、対話集会は台本を作るようなものではないと思っている。フォーラムではできない市民の意見を聞くのが対話集会だ。意見が一致していることを話すのは違う。運営調整部会には提案できない。

チームリーダー

- ・検討部会ごとに考えてやることであって、それで各検討部会の意見も聞くといったことだ。足並みがそろわないから止めてしまうわけにはいかない。市民の意見を聞く場面はここしかない。
- ・フォーラムの日に、対話集會をいつやるのかを参加者に提示したい。
- ・市民の声を聞くのだと言っておいて、実行段階になってあれこれと注文をつけること自体違う気がする。
- ・細かいことは広報・PIチームで考えるのか、各検討部会で考えるのか。その中間点もあるだろう。詳しいマニュアルを、と言われたときに、「ない」というのか。

チームリーダー

- ・マニュアルではなく、前回提示したものに肉付けをしたものだ。それを基にまた、意見を反映させる。
- ・それはやはり台本なのか。

事務局

- ・私が言っている司会進行文は、想定質問を用意して、回答も全部決めておいて、といった予め全部決まっているようなものではない。

チームリーダー

- ・次回に向けて、今日の意見を踏まえて作ってみる。その案をたたいてもらいたい。
- ・平先生とパネリストの打合せは当日で足りるのか。事前に顔を合わせたり、メールなどのやり取りが必要ではないのか。

事務局

- ・平先生にその旨伝える。
- ・商工会議所からの推薦委員からだが、会報に市民フォーラムのことを載せてもらうことになった。また、キャストビジョンの利用についても

	<p>提案があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシを9月上旬の民生委員の会議で配ることになっている。福祉課に500部配布の依頼をしてある。 ・準備で何が必要か、洗い出しは必ずしておいていただきたい。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する委員の当日の役割分担は次回としたい。 ・事務局からアドバイスがあれば、メールで連絡をお願いしたい。
次回以降日程	平成20年9月3日(水)18時30分から。